

先進事例を見る

全国中央会では、中小企業・小規模事業者や組合等連携組織が、新たな事業活動への挑戦や組織体制の見直し等を行う際の参考となるよう、知識や経験、ノウハウの移転・活用につなげることを目的に掲げ、本会と連携し、課題解決等に先進的に取り組む組合活動事例について調査・分析、収集・普及を行っており、これまでに収録した組合活動事例は、延べ6,300組合を超えています。

これまで収集した事例とともに、全国中央会のホームページ(組合事例検索システム)で公開しています。今回は、平成29年度の先進事例組合抄録から「組合事務局を担う人材の確保・活用」をご紹介します。

協同組合和田浜工業団地

— 鳥取県唯一の女性の事務局長兼組合士の愛読書は「組合事務必携」 —

住 所	(〒683-0102) 鳥取県米子市和田町2002番地1		
電 話 番 号	0859-21-1911	U R L	http://wadahama.com
設 立	平成5年4月	出 資 金	24,800千円
主 な 業 種	製造業、建設業、貨物自動車運送業、自動車整備業、卸売業、廃棄物処理業	組 合 員	35人

■背景と目的

平成5年4月に設立した当団地組合は、製造業、建設業、運送業をはじめ最先端業種のエレクトロニクスや精密機械の製造など異業種企業の団地である。組合の共同事業として、団地の管理と簡易郵便局事業、また厚生労働省の人材確保推進事業に取り組み、労働力確保や労働環境の変化への対応、より良い人材の確保に努めている。

■事業・活動の内容と手法

平成6年入社の女性事務職員が組合の事務局長となり、コンプライアンス、組合事業運営等に携わる女性組合士の鳥取県第1号として平成19年に合格。理事会・総会運営、事業運営等の組合運営の重要なポジションを担っている。人材不足が組合員各社にも大きく影響している今日において、人材育成や働き方の多様化に対応するためには女性目線から見た組合運営、事業運営も重要であることから、組合としても組合士の資格を持つ女性事務局長は大きな戦力となっている。

女性事務局長自身も知識欲が旺盛で、組合は法律により決められたルールがあり、手続き、提出資料等も「知っていて当然」という意識が高く、デスクの横には、いつも「組合必携」が置かれている。組合員の中には「外国人実習生共同受入事業」を活用している企業もあり、以前、組合事業として保育園を運営(現在は組合員企業に委託)していた経緯もあって、将来的には、多様な働き方の推進、女性活躍の場を検討していく必要があるため、今後、女性組合士・事務局長には、大きな期待がかかっている。

■成果

女性組合士・事務局長が生まれたことは、従来のハードな事業運営から視点を変えてソフトな組合運営に転換し、女性活躍の場を設定することの意義が組合が認識することにつながった。また女性組合士・事務局長の就任以降、的確な組合運営が細部にまで行き渡るなど、組合員が大きな成果として歓迎している。



事務局長の木村晴美氏



組合会館



事業・活動推進のキーファクター

女性組合士・事務局長の誕生が、組合員の労働環境改善に新たな光明を照らし、女性の人材活用、戦力化の基盤が完成しつつある。